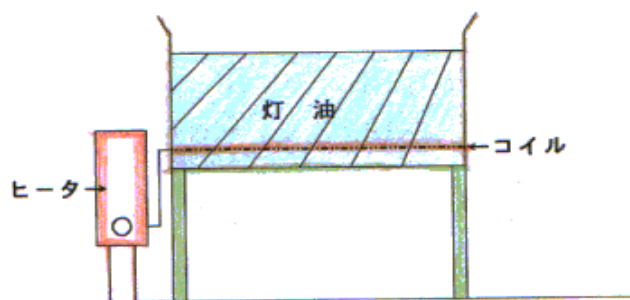


富士紀行（30）創意工夫の才（その2）

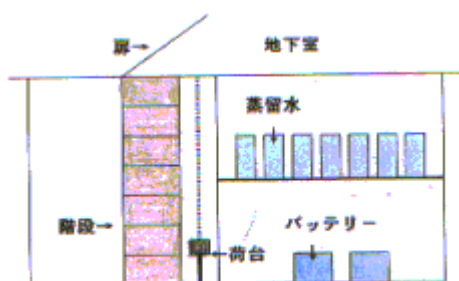
5 冬でも暖かい洗い場



車両の部品等を灯油で洗うとき、一般的には冷たい洗い場で実施しているが、冬季など作業の不確実性が増し、作業能率低下は必至である。洗い場の中にコイルを入れ、灯油をヒーターで暖めて部品等を洗うことにより能率も上がり快適である。

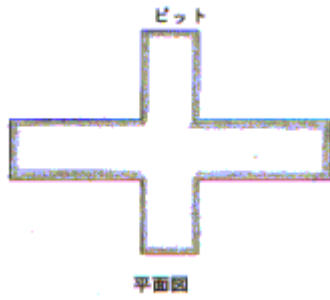
6 充電室

車両のバッテリーの蒸留水や充電中のバッテリーは充電室と言われるところに保管される。冬季などは雑毛布などを被せて凍結防止を期しているが、これによって冬季管理の不安及び充電室の許容範囲が制限されることが多い。このため、地下室を設け蒸留水やバッテリーを保管することにより、凍結防止が可能になり、スペースも効率的に使用できる。バッテリーの地下室からの出入を容易にするために滑車等を使う工夫がなされていることは言うまでもなからう。



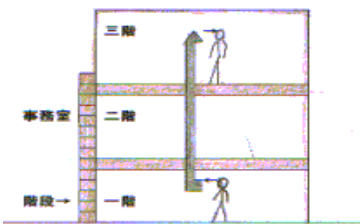
7 十字形ピット（塗装用）

車両の塗装（下回り）は、長方形ピットを使用して実施されているが、この場合塗装の吹き残しを生じる。これを避けるために車両を小移動させる必要があった。これを改善するために十字形のピットを考案した。これによって車両を小移動させる必要もないし、勿論塗装の吹き直しもなくなった。



図一 7

8 伝声管



1階と2階や3階との連絡方法としては、電話や伝令等で伝達することが多いが、軽易では無い。この様な場合、古い方式ではあるけれども伝声管を使用し見てはどうか。結構確実なものである。